



— 市民しんぶん山科区版 —

8 15 号

やましな

山科区シンボルマーク

区役所HP <http://www.city.kyoto.lg.jp/yamasina/>

氾濫する竹田川

平成16年7月26日



約30分間におよぶ激しい雷雨のため、竹田川の水があふれた。

風水害対策10力条

- ①台風や大雨に関する情報を注意深く聴く(ラジオは必ず携帯する)
- ②むやみに外出せず、外出していたら早めに帰宅する
- ③家の周りを点検し、飛ばされそうなものは室内に取り込むか、しっかり固定する
- ④戸や窓のすき間にビニールテープを張り、雨戸を閉める
- ⑤停電に備えて懐中電灯やローソクを用意する(予備の電池も用意する)
- ⑥いつでも避難できるように非常持出袋を用意する
- ⑦浸水に備えて、家財道具をできるだけ高い所に移動させる
- ⑧お年寄りや体の不自由な方などは安全な場所に移動させる
- ⑨ガスの元栓を閉める
- ⑩家族で避難場所や避難経路を確認しておく

市消防局「防災アドバイザーハンドブック」より

大雨に備えて

防災関連情報

気象庁防災気象情報

(気象警報・注意報・台風情報等)

<http://www.jma.go.jp/jma/menu/flash.html>

京都府河川防災情報

(雨量、河川水位、河川防災カメラ)

<http://chisuibousai.pref.kyoto.jp/>

京都府土砂災害警戒情報

(雨量、警戒情報)

<http://dosyabousai.pref.kyoto.jp/MudslideSupport/GeneralTop>

京都市防災マップ

(いざというときに身を守る情報)

<http://www.city.kyoto.lg.jp/shobo/page/0000015347.html>

ホームページのほか、テレビ、ラジオでも情報は入手できます。注意報や警報に注意し災害に備えましょう。

現在の竹田川

平成20年7月8日

市が改修工事を施し、地震などの災害で火事が起きた際に、川の流れをせき止めて水位を上げ住民がバケツリレーで消火する取組が行えるようになった。

問合せ

区総務課防災担当 (☎592-3066)

台風シーズン到来

集中豪雨にもご注意

大雨の原因となる台風や前線、低気圧は広い範囲に、夕立は短時間で狭い範囲に雨を降らせ、また夕立のような激しい雨が何時間も続く集中豪雨も各地で発生しています。

台風が近付いてくるときには、前線による長雨が長く、更に台風に伴う大雨のため、大きな災害につながる可能性があります。

最近、治山・治水などの防災事業や災害情報の発達により、大雨による大規模な人的被害は減少していますが、都市化・宅地化の影響もあり、中小河川の氾濫や土砂災害をよく耳にするようになってきました。

山科区は、三方を山に囲まれ、急傾斜地も多く、盆地の中央を多くの中小河川が流れ、山科川に合流しているため、大雨による浸水や山崩れ・がけ崩れ、土石流への警戒を怠ることはできません。

いざというときに備え、家庭で避難場所の確認や非常持出袋を用意し、日ごろから隣近所とのお付き合いを大切にすることにも、大雨のおそれのあるときは、気象・防災情報に十分注意して行動することが重要です。